

日本光学会平成 16 年度第 173 回幹事会議事録

日 時：2004 年 9 月 17 日（金） 13：30～17：30

場 所：応用物理学会会議室

出席者：黒田幹事長，他 25 名

議 事：

1. 平成 16 年度第 1 回常任幹事会議事録に関する質問事項

- ・前回議事録は承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・光学出版費用の一覧が示された。8, 9 号は若干の遅れが生じたが、発行は終了している。10 号に関しても大幅な遅れなく発行できるとの報告がなされた。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・論文投稿状況が報告された。
- ・投稿料 8 ページ制限見直しの件は、出版委員会に諮って次回幹事会に報告することとなった。
- ・OR アーカイブが完成したので、日本光学会会員宛てにメーリングリストを用いてお知らせすることとした。

(3) 「OPTICAL REVIEW」出版報告

- ・Springer Verlag 社との MOA 改訂については、順調に進んでいる。
- ・EBSCO サイトに OR が無断掲載されている件の状況報告があった。現在は、全文のダウンロードはできないが、出版委員長より完全に閉鎖させるのか、正式な手続きを踏み掲載するのか日本光学会の方針を改めて議論すべきであるとの意見が出された。
- ・科研費による出版補助金を申請する予定であったが、今回は見送ることとした。

2-2. 講演会関連報告

(1) 光学シンポジウム収支報告

- ・収支報告がなされた。参加者が 350 名を超え、盛会であった。

(2) サマーセミナー結果報告

- ・ナイトセッションは 8 件の展示があり、とくに盛況であった。予算関連として来年度も応用物理学会に活性化支援金を申請予定であることが報告された。

(3) ICO' 04 結果報告

- ・実行委員長より報告書が示され、会議概要、運営、収支に関して報告がなされた。参加者数は 500 名以上、発表論文数は 300 件を超え、たいへん盛況であった。

(4) OPTICS JAPAN 2004 進捗報告

- ・進捗は順調である。講演申込は前年の浜松での開催に比べて 50 件多い 320 件である。

(5) カラーフォーラム JAPAN 2004 進捗報告

- ・プログラムが確定し、予定通り開催できるとの報告があった。

(6) 冬期講習会進捗報告

- ・テーマは「光記録の今と未来」で決定し、現在盛んに研究が進められている内容をほぼ取り上げた。広報活動として、メーリングリストを用いる件は承認された。

(7) 北海道講演会進捗報告

- ・プログラムが確定し講演を待つのみである。今年度から応物北海道支部との合同開催であるが、日本光学会関連講演が 23 件あり応物北海道支部から好評を得た。広報活動として「光学」および日本光学会ホームページに開催案内を掲載したほうがよいとの意見が出された。

(8) 光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・プログラムが確定し順調に進んでいるとの報告があった。広報活動としては、「光学」10 月号および日本光学会ホームページに開催案内を掲載する予定である。

(9) 日本光学会（応用物理学会）関西講演会進捗報告

- ・「3 次元計測とディスプレイ」をテーマとして開催する予定との報告がなされた。

2-3. その他報告事項

(1) 会員動静

- ・7 月から 8 月にかけてわずかに増加した。

(2) 奨励賞および光学論文賞関連

- ・奨励賞および光学論文賞関連の締切日と今後の予定に関する確認がなされた。

3. 審議事項

3-1. 協賛依頼について

- ・9 件の共催依頼があり、すべて承認された。

3-2. 「光学」編集について

- ・今後の編集業務を「学術新報社」に委託することが承認された。
- ・バックナンバーの在庫状況が示された。保管場所、保管費用の関係から各号 3 冊を光学資料室に保管し、残りは裁断後廃棄することが承認された。

3-3. 予算案

- ・来年度予算案が示され、大筋承認された。また前期繰越金を日本光学会積立金とすることが承認された。

- ・日本光学会積立金は、電子投稿システムの構築に充てるのがよいのではないかという意見が出され、継続検討とすることとした。

3-4. 次期幹事案について

- ・改選幹事候補の提案がなされた。最終締切日 9/28 をもって日本光学会推薦者として承認することとした。推薦者人数をもって定員とすることが承認された。

3-5. 会員メーリングリストの取り扱いについて

- ・メーリングリストの取り扱いに関して一部修正され、承認された。

3-6. 第 30 回光学シンポジウム 2005 企画案について

- ・例年の開催要項を踏襲し、開催日は 2005 年 6 月 16, 17 日、場所は早稲田大学国際会議場井深大記念ホールで決定した。日本光学会ホームページの使用、E-mail アドレスの取得、日本光学会メーリングリストの使用の件は承認された。

3-7. 応物会員サービスシステムに関して

- ・来年度からの会員サービスシステムに関して示された。分科会から会員サービスシステムへの接続に関しては、分科会へ配布される USB キーと ID パスワードでアクセスが管理される。それに伴い来年度は USB キーを持ちアクセス管理をする担当幹事を設けることとした。

3-8. OJ ベストプレゼンテーション賞設立について

- ・OJ2005 から若手育成のため奨励賞を設立することが承認された。1 月幹事会にて基本方針を示すこととした。

3-9. OPTICS JAPAN 2005 に関して

- ・OJ2005 実行委員長より日程・会場案がいくつか示された。期間は 2 日間とし、一橋記念講堂を会場候補とすることとした。

3-10. 収支計算

- ・平成 16 年 1 月 1 日から 9 月 16 日までの収支計算書が提出された。

平成 16 年度第 2 回常任幹事会

2004 年 11 月 12 日 (金) に機械振興会館 6F-61 号室において開催されました。「光学」編集報告、「OR」編集・出版報告、サマーセミナー収支報告、名古屋講演会進捗報告、冬期講習会進捗報告、Optics Japan 2005 進捗報告、カラーフォーラム 2004 進捗報告、北海道支部合同学術講演会進捗講演会結果報告、関西講演会進捗報告、光学五学会関西支部連合講演会進捗報告および Optics Japan 2004 結果報告がなされました。また、協賛依頼、OIE' 05 共催、会員動静、光学論文賞、日本光学会 2005 年度予算案について報告がなされました。さらに、OR 出版委員会のあり方、近接

場光学研究グループ国際会議準備金、「光学」への人事公募の記事掲載、Optics Japan 2004 予稿の転載依頼等について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第 34 巻第 3 号に掲載予定です。

第 218 回「光学」編集委員会

2004 年 11 月 10 日 (水) に、応用物理学会会議室において開催されました。第 34 巻 8, 9 号企画、第 34 巻第 10~12 号と第 35 巻 1, 4 号の構想案および第 35 巻第 2, 3 号担当について審議が行われました。また、第 33 巻第 10, 11 号発刊後の反省があり、論文投稿・審査状況、第 33 巻 12 号、第 34 巻 1~7 号の進捗状況についての報告、会計および幹事会の報告がなされました。「光学」の Web 化の準備状況についても説明がなされました。

第 31 回冬期講習会「光記録の今と未来」

期 日： 2005 年 1 月 20 日 (木)~21 日 (金)

場 所： 東京大学本郷キャンパス山上会館大会議室
(東京都文京区本郷 7-3-1)

主 催： 日本光学会

申込締切： 2005 年 1 月 17 日 (月) 正午まで

詳細につきましては、「光学」第 33 巻第 11 号の綴じ込みの案内、または日本光学会ホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/>) をご覧ください。

第 30 回光学シンポジウム講演募集

期 日： 2005 年 6 月 16 日 (木), 17 日 (金)

場所(予定)： 早稲田大学国際会議場 (井深大記念ホール)
(東京都新宿区西早稲田 1-20-14)

主 催： 日本光学会

講演方法および時間： 基本的に口頭講演のみ、発表 20 分 (質疑応答 5 分含む)。プログラム編成の都合によりポスターセッションへ変更をお願いする場合があります。

応募資格： 日本光学会 (入会予定含む)、応用物理学会、SPIE、OSK、協賛学協会会員

応募方法： 以下の内容を応募先に電子メールにて送付してください。題目、氏名 (登壇者には○を付ける)、所属機関名、英文題目、英文氏名、所属機関英文名、アブストラクト (200 字以内)、連絡先 (郵便番号、住所、氏名、E-mail、電話、FAX)。

応募締切： 2005 年 3 月 2 日 (水) 必着

予稿締切： 2005 年 4 月 21 日 (木) 必着

応募・問合せ先： (株)リコー画像エンジン開発本部 EP

開発センター OE 開発室 増田浩二
〒143-8555 東京都大田区中馬込 1-3-6
電話 03-5742-8858 Fax: 03-3777-8178
E-mail: optsympo30@aurora.ocn.ne.jp

詳細につきましては、本号の綴じ込み案内、または、日本光学学会のホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/sympo.html>) をご覧ください。

第9回光波シンセシス研究会 International Workshop —Novel solid-state high power laser and laser processing—

期 日：2005年2月22日(火)
場 所：千葉大学自然科学系総合研究棟2F マルチメディア講義室(千葉市稲毛区弥生町1-33)
主 催：日本光学学会光波シンセシス研究グループ
会 費：無料
問合せ先：千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター 羽石 秀昭 電話/Fax 043-290-3405
E-mail: haneishi@faculty.chiba-u.jp
プログラム等の詳細は、光波シンセシス研究グループのホームページ (<http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/lws/default.htm>) をご覧ください。

第46回科学技術映像祭参加作品募集

科学技術に関する優れた映像作品を募集します。部門は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」の5部門です。応募資格は、日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関、および個人が製作し、2004年2月1日～2005年1月31日までに完成または放映した作品です。3月中旬に、内閣総理大臣賞1作品、文部科学大臣賞14作品を発表します。
応募締切：2005年1月31日(月)
問合せ先：
日本科学技術振興財団内 科学技術映像祭事務局
〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1
電話 03-3212-2454 Fax 03-3212-0014
<http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>

「回折光学素子技術入門」技術講座

回折光学素子を実際の光学系に導入する際の基本的な設計手法と回折光学素子の種々の応用についての技術講座です。光学設計技術者の方を対象としています。
日 時：2005年2月15日(火)、16日(水)(計2日間)。
両日とも10:00～16:30、

場 所：機械振興会館地下3階2号室
(東京都港区芝公園3-5-8)
主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会
協 賛：日本光学会
講 師：小館香椎子(日本女子大)、鈴木 等(トプコン)、中井武彦(キヤノン)、丸山晃一(ペンタックス)、田邊 譲(旭硝子)、佐々木浩紀(沖電気)、尼子淳(セイコーエプソン)
参加費：1名につき一般91,770円、正会員66,360円、賛助・協賛会員74,445円。テキスト・消費税を含む。
申込期限：2005年2月10日(木)
問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail: info@joem.or.jp
<http://www.joem.or.jp>

「光学系基礎理論」技術講座

本講座は、近軸理論を中心にした光学系の基礎理論を体系的に理解していただくことを目的としています。近軸理論についての理解は、とくに収差論を学ぼうと考えておられる方々は、前段階として必要と考えられます。
日 時：2005年2月17日、24日、3月3日、10日、17日、24日(計6日、すべて木曜日)、各回13:30～17:00。
場 所：機械振興会館地下3階2号室
(東京都港区芝公園3-5-8)
主 催：(社)日本オプトメカトロニクス協会
協 賛：日本光学会
講 師：荒木敬介(キヤノン)
参加費：1名につき一般91,770円、正会員66,360円、協賛・賛助会員74,445円。テキスト・消費税を含む。
申込期限：2005年2月10日(木)
問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会
電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567
E-mail: info@joem.or.jp
<http://www.joem.or.jp>

「ナノインプリント技術の最新動向と光素子応用」公開セミナー

現在注目されているナノインプリント技術の原理、メカニズムからその応用、とくに光素子応用について最新動向を一望することができるセミナーです。
日 時：2005年3月9日(水) 10:00～17:50
場 所：機械振興会館地下3階研修2号室
(東京都港区芝公園3-5-8)

主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会光学系設計
技術部会

協賛：日本光学会

プログラム：

1. ナノインプリント技術の原理と技術シーズ
2. ナノインプリント技術と応用分野
3. 光ナノインプリントによる超微細パターン形成
4. サブ波長格子による無反射光学素子
5. サブ波長構造を有する光学素子の転写技術
6. インプリント技術における光導波路作製技術

参加費：1名につき(テキスト・消費税を含む)一般
25,515円, 正会員15,330円, 協賛・賛助会員19,425
円, 学生4,095円

申込期限：2005年3月2日(水)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

http://www.joem.or.jp

寄贈書のお知らせ

Springer社より以下の2冊の図書が寄贈されました。

- 1) 書名：Extreme Nonlinear Optics
著者：Wegener, Martin
ISBN：3-540-22291-X, 223頁, EUR59.95
- 2) 書名：Silicon Photonics
著者：Pavesi, Lorenzo; David J. (Eds.)
ISBN：3-540-21022-9, 397頁, EUR169.95

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒243-0198 厚木市森の里若宮3-1 NTT フォトニクス研究所 複合光デバイス研究部

神原浩久 電話 046-240-3238 Fax 046-240-4526 E-mail: kanbara@aecl.ntt.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成16年度幹事(*常任幹事)

幹事長：	黒田 和男* (東大)	小籠香椎子* (日本女子大)
副幹事長：	春名 正光* (大阪大)	岩田 耕一 (大阪府大)
前幹事長：	山本 公明 (オリンパス)	井出 昌史* (シチズン時計)
庶務幹事：	大澤日佐雄* (ニコン)	江口 勝* (ペンタックス)
	平尾 明子* (東芝)	大友 晋哉* (古河電工)
	長濱 博幸* (トプコン)	植松 晴子* (東京学芸大)
	神原 浩久* (NTT)	門野 博史 (埼玉大)
『光学』編集幹事：	三尾 典克* (東大)	
	裏 升吾 (京都工繊大)	
『OR』編集・出版幹事：	植田 憲一* (電通大)	一岡 芳樹 (奈良高専)
	高橋 信明 (防衛大)	
国際協力幹事：	富田 康生 (電通大)	大津 元一 (東工大)
	立野 公男 (日立)	
将来問題担当幹事：	岩井 俊昭 (北大)	山崎 章市 (キヤノン)
	辻岡 強 (大阪教育大)	
企画・事業担当幹事：	春名 正光 (大阪大)	小籠香椎子 (日本女子大)
	仲間 健一 (日本板硝子)	渡部 文男 (フジノン)
	増田 浩二 (リコー)	山下 敦司 (コニカミノルタ)
	鈴木 貞一 (富士ゼロックス)	吉田 慎也 (シャープ)
	宮崎 大介 (大阪市大)	阿山みよし (宇都宮大)
	有本 英伸 (産総研)	佐藤 彰 (コニカミノルタ)
	岡田 英史 (慶応大)	三浦 則明 (北見工大)
	宮城 光信 (東北大)	安達 正明 (金沢大)
	藤原 巧 (長岡技大)	庄司 一郎 (分子研)
	野村 孝徳 (和歌山大)	早崎 芳夫 (徳島大)
	入江 正浩 (九州大)	